

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月12日

【評価実施概要】

事業所番号	2770106298		
法人名	社会福祉法人 おおとり福祉会		
事業所名	ほがらか草部グループホーム		
所在地	大阪府堺市西区草部933番地 (電話) 072-271-0077		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル カロア事務局		
訪問調査日	2007/10/31	評価確定日	

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <input type="radio"/> 平成 <input checked="" type="radio"/> 16年 5月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	14 人 常勤4人, 非常勤10人, 常勤換算4.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有() 円) <input type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> (300,000 円) <input type="radio"/> 有りの場合 償却の有無		有 / <input checked="" type="radio"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,600 円		

(4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	4	要介護2		2	
要介護3	9	要介護4		3	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85.4 歳	最低	72 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	喜多クリニック・石橋歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

- ・静かな環境で、周囲には畑や団地、小学校などがあります。アクセスは近くにバス停が2ヶ所あり、どちらも徒歩約5分程度のところにあります。
- ・自治会の協力と理解が得られており、地域で開催される祭りや行事等に参加できる体制が整っていて、非常に良好な関係が出来ている印象を受けます。
- ・自立支援やなじみの環境づくりへの配慮がなされています。食事の準備される場面ではとても穏やかに取り組まれ、落ちつかれた雰囲気を感じられます。食事中には馴染みのある食器やお箸等も使用されていて、その人らしさとこだわりを大切にされた暮らしの支援がなされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) ケアプランの記述について利用者や家族が読みやすい様に、専門用語を排除し、担当者が変わっても実践されています。 庭の畑にはイチゴを植え、食生活にも潤いをもたらす工夫と、洗濯が干せない利用者でも干す姿を見ることができるよう長椅子を設けています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営推進会議については、働きかけにより市職員の参加をしてもらえようになり、今後取り組みのイメージ作りから開始されます。 災害対策について運営推進会議で自治会長よりマニュアル作りの提案を受けています。今後マニュアル作成に向けて取り組まれる予定です。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 5.平成18年7月より2ヶ月に1回の開催を行っておられます。活発な意見交換が行なわれている様子です。意見として挙がっているのは防災対策についてであり、地域を含めたマニュアル作りに取り組まれる予定です。 6.働きかけにより、市職員の参加が出来るようになった所です。市職員が入ったことにより、これからどのような形に勤めていくのかというイメージがまだできていないのが課題だと感じておられます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 7.面会時に書類の手渡しと口頭で伝えるようにされています。管理者が不在であっても他のスタッフで対応できるように工夫されています。面会のない家族へは毎月20日以降に郵送で送るようにされています。 8.面会時等に家族から直接聞き取るよう努めておられます。意見箱は設置されていますが、相談し易い環境を作ることを課題と感じておられます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 周辺の団地には高齢者世帯が多く、立ち上げの時から自治会長の理解と協力があります。ホームの夏祭りには自治会長を中心に声をかけています。また、団地が4つあり、団地ごとの夏祭りにも出席を呼びかけられるようになっている様子です。入居者が地域の運動会、夏祭り、敬老会等へ参加し、楽しんでいる様子が掲示されている写真でも確認できます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p style="text-align: center;">. 理念に基づく運営</p> <p style="text-align: center;">1. 理念と共有</p>					
1	1	<p style="text-align: center;">地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p><運営方針> 利用者の人権を尊重し、家庭的で笑顔のある、きめの細かいケアサービスにより支援することを基本方針とします。</p> <p><運営理念></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安らぎと自信を持つことが出来、自ら決定できるよう支援します。 ・地域社会の一員として、この地域で生活していくことを支援します。 ・職員は利用者とともに、生活を楽しみ、自己研鑽に努めます。 <p>上記の内容をホーム内に掲示されています。</p>		
2	2	<p style="text-align: center;">理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>ホーム内の各ユニットごとに掲示されているとともに、常にスタッフが理念の内容を周知する為に小さいカードにまとめ、持ち歩くようにしている。また、会議の内容により、新たなことをされる場合には、理念に基づいて話を進めるようにされています。</p>		
<p style="text-align: center;">2. 地域との支えあい</p>					
3	5	<p style="text-align: center;">地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>ホームの周辺の団地には高齢者世帯が多く、ホーム立ち上げの時から自治会長の理解と協力があります。ホームの夏祭りには自治会長を中心に声をかけています。また、団地が4つあり、その団地ごとの夏祭りにも出席を呼びかけられるようになっている様子です。入居者が地域の運動会、夏祭り、敬老会、小学校の運動会等へ参加し、楽しまれている様子が掲示されている写真でも確認できます。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価時の課題について、今後の見直しやホームとしての方向性の指針と捉え、現場で話し合い、検討の上で改善がなされています。</p> <p>ケアプランの記述について、利用者や家族が読みやすい文章をということで、専門用語を排除し、計画作成担当者が変わっても、それが実践されています。</p> <p>庭の活用について、検討された結果、行事を行うほどのスペース的余裕が無いとの判断で、現在は畑を作り、そこにイチゴを植えて、食生活にも潤いが持てるように工夫されています。また、洗濯が干せない利用者でも、干す姿を見れるように長椅子を設置されています。</p> <p>今回の自己評価については、</p> <p>運営推進会議を形のあるものにするために努力されています。市職員の参加までしてもらおうことが出来るようになり、これからというところで</p> <p>災害対策について運営推進会議で自治会長よりマニュアル作りの提案を受けています。今後災害時の対策マニュアル作成に向けて取り組まれる予定です。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>平成18年7月より2ヶ月に1回の開催を行っておられます。活発な意見交換が行なわれている様子が議事録にて確認できます。最近の意見として挙げられているのは、防災対策についてであり、今後地域を含めたマニュアル作りに取り組みされる予定です。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>実態としては、制度改正以降の地域包括支援センターの介入が難しい状態で、ホームからの働きかけにより、最近ようやく市職員の参加が出来るようになった所であるとの事です。市職員が入ってもらったことにより、これからどのような形に勤めていくのかというイメージがまだできていないのが課題だと感じておられます。</p>		<p>市職員の参加により、今後の課題として感じておられる取り組みのイメージ作りからはじめ、今後の活動があらたな良い形となることを期待します。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会に来られた時に必要な書類の手渡しと口頭で伝えるようにされています。必要な書類については、個別のポストを事務所に設け、その中にあらかじめ入れておいて、申し送りをし、管理者が不在であっても他のスタッフで対応できるようにされています。毎月20日までに面会に来られない時には、郵送で送るようにされています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や計画書説明交付の際に家族から直接伝えていただけるようにコミュニケーションに努めておられます。苦情、相談内容もホーム内で把握されている様子です。意見・苦情箱は各ユニットのカウンターに設置されていますが、活用状況としてはあまり意見が入らないとのこと。管理者としては、家族が100%言ってくれているとは思っていないが、家族がスタッフに相談しやすい環境を作ることを今後の課題と感じておられます。</p>		<p>苦情や意見は家族より直接職員に伝えられる事が多い様で、個人対応されているとの事です。内容によってはどんな内容の苦情・相談でホームとしてどのように対応するのかということ公表するなどの工夫を検討されてみてはいかがでしょうか。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>普段からスタッフの話に管理者が耳を傾け、相談を聞いている様子です。スタッフも理念にあるように楽しみながら、ケアをされている様子が窺えます。法人内異動や新規職員の関係性が作れるように配慮されている様子です。また、勤務が過重にならないように常に意見を求め、プログラムを行事などのプログラムを実施されるなど、配慮されている様子が窺えます。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画の中に研修計画を盛り込み、定期的の実施されています。現在、テーマとして挙げているのは身体拘束、虐待、食中毒、接遇についてであり、それらのことについて積極的に研修が行なわれていることが研修記録で確認できます。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ区内のグループホームで月一回の連絡会を行っています。情報交換や研修に役立てている様子が窺えます。他のホームで行われている接遇の自己評価を積極的に取り入れ活用されています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新規で見学に来られた時には、体験宿泊までは行っていないが、馴染んでいただくために、利用者の間に入ってもらうようにしています。また、初めての利用者で不安が予想される場合は家族と一緒に宿泊することも可能です。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の中には調理に詳しい人、花などの植物に詳しい人がいて、それぞれ、調理の場面や草引き、植樹等において、利用者が主体となり、スタッフが教えてもらう場面を作っておられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>希望や訴えについては直接ご本人の口から聞くこともありますが、訴えられない人については行動から分析するようにしている様子です。内容はすべてケース記録に24時間形式で記載されており、それを元にケース会議等でケアの方向性を検討しております。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族はもとより医師、ホームスタッフにより計画の内容を検討され、地域の方々の協力もあり、インフォーマルな部分も盛り込みんだ計画作成がなされています。また、記述方式が専門用語を省いたことで非常に見やすく作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>計画期間以外にも状態の変化、対応の変化の必要性が出たときには、医師の意見を伺いつつ本人、家族の意向に沿えるようケース会議を開き、内容を検討されている様子が窺えます。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居後間もない利用者の家族には宿泊してもらうこともできます。通院、外泊等においても必要性に応じてホームで対応している。かかりつけ医からの情報として急に受診等が必要となった際にも、送迎担当者が緊急で対応を行っております。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に、今までのかかりつけの医師とするのか、ホームの協力医療機関の医師とするのかを選択していただいております。また、他科受診についてのサポートも行っており、受診が必要であればその都度送迎等対応されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のケースは今の所対応ケースとしては、何かあれば病院に搬送するというケースがありますが、夜勤体制などでは常に管理者、看護師にオンコールできる体制をとられています。また、それについてのマニュアルも作成されています。重度化については、浴室が一般家庭浴槽という事もあり、入浴がクリアできるかどうかということに視点を置いて受入れができるか判断するようにしているとの事です。また、その場の状況だけでなく医師やスタッフなどから回復の可能性について検討した上で受け入れる形をとられています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物の管理は鍵つきのところで管理されています。言葉かけや対応については現在課題と捉えられている様子で、「気になる言葉チェック」という自己評価表を作成し、年に2回確認を取られています。今、まさに取り組まれている所であり、気になる言葉も時々、出ることもあるとの事です。		独自に言葉チェック等されておられますが、その内容に対して、どのように変えていけばいいのか、また、おちいりやすい状況等を検証されるなど、職員間で意見交換されるとさらに良い様におもいます。接遇について今後も積極的に取り組まれることで改善されることに期待します。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望があれば散歩、買い物等の対応は可能です。また、その人のペースで暮らせる支援として、特に誘う事なく、一人で出て行きそうなときはさりげなく横に付き添い出かけられている様子が窺えます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備、片付けにおいては、利用者の出来るところ出来ないところを分析した上で、スタッフと一緒にいきいきと活動をされています。また、献立においても基本は法人内の管理栄養士が作成しますが、上乘せという形で、季節折々の料理や、内容のアレンジであったりと臨機応変に利用者の希望や意見に沿って対応されています。食事中にはスタッフが一緒に食事をするのではなく、別の作業をされている事もある様子です。</p>		<p>職員も一緒に食事を取るなどして、同じ食事時間を過ごすことで、食事の雰囲気作りを検討されてみてはいかがでしょうか。</p>
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>夜の入浴は人員上難しいと感じている様子ですが、昼間は2日に1回を基本として、特に回数やユニットにこだわらず午前午後と臨機応変に入浴できるようにされています。入浴拒否をされる利用者については誘導の方法を工夫することで対応が可能となったケースもあります。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>掃除や食事に関して利用者個別に役割を持ってもらい行っておられます。出来ない所は個別に観察をし、出来ないところへの支援を行っておられます。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物や図書館への外出、法人内の施設でのレクリエーションへの参加、外出の行事などへの参加も行っています。また、食後散歩する習慣のある利用者にもさりげなく付き添う場面が見受けられます。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵はかけずに対応されています。玄関にはセンサーチャイムを取り付けており、ホーム内が平屋という事もあって音がしっかりと聞こえるようにされていました。また、利用者個々の習慣や、意向を察知している部分について一緒に外出するなどのその都度の対応がなされています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を定期的に行ない、近隣の方々に緊急通報装置の協力者となってもらっています。しかし、運営推進会議で意見として挙がっている災害時の地域での協力体制や個人情報についての問題点など、いくつか意見に挙がっている部分があるのでそれが今後の課題になると考えておられる様子です。		自治会長からも震災等の具体的なマニュアル作りの提案もある様なので、災害時の対策として地域でのグループホームとしての役割を明確にしておくためにも今後の取り組みに期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士が献立を作成されています。その時々に応じてアレンジすることもあります。が、摂取量については必要に応じてケース記録に記載されています。水分は好みのものを召し上がっていただくようにしたり、手近な所にセッティングしておくことという対応をされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は居室に居る利用者が少なく、殆どの方が、共用スペースまで出て来られている様子で、ゆったりとくつろいでいる様子が窺えます。日の当たるところにはカーテンを取り付け、利用者が自分でカーテンを調整することも出来るようになっています。壁には最近出かけた外出行事の写真が掲示され季節感を出されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを部屋に持ち込んでいただけるように、入居時や模様替えの際に家族にも確認を取りながら対応に配慮しておられる様子です。ホーム内で飲むコーヒーも一人ひとり好みに合ったものを準備されています。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。